

恩田地区(12月末)

世帯数 6,158戸(+2)

総人口 12,536人(+24)

男:6,137人(+10)

女:6,399人(+14)

# 恩田だより



## 2月号 (493号)

発行年月日 令和3年2月1日  
発行 恩田ふれあいセンター  
地域づくり協議会

TEL/FAX 21-0349

### 恩田ふれあいどんど焼き 主催:地域づくり協議会

1月10日(日)は雪の為、9日(土)10時に中止の決定をしました。  
連絡が行き届かず足を運ばれた方、申し訳ありませんでした。

### 恩田地区人権教育推進大会 中止のお知らせ

主催:恩田地区人権教育推進委員協議会  
2/14(日)に開催の御案内をしておりました人権教育  
推進大会は、コロナウイルス感染拡大の現況を考慮  
して中止とさせていただきます。

### 令和2年度

### 恩田小学校児童【6年生】人権標語



#### 【特選】

認めよう みんなちがう その心 幸明 咲希

#### 【入選】

意識して	差別をなくそう	全員で	伊藤 優成
この星の	みんなで守ろう	人権を	汐重 ひかり
人権で	ひまわり植えて	イジメなし	中野 翔栄
差別なし	そんな世の中	つくりたい!	廣松 理沙
みんなはね	同じ「人」だよ	大丈夫	田中 萌々香
始めよう	温かい言葉の	パレードを	棟久 悠成
あなたには	優しくできる	パワーある	宮下 智行
笑顔の輪	広がっていこう	どこまでも	西田 悠生
差別なし	みんな仲間だ	平等に	池田 悠莉
だれにでも	楽しく暮らす	権利あり	岡崎 咲羽

赤い羽根共同募金に協力していただいた  
地区内各事業所等 (順不同・敬称略)

### ありがとうございました



東整形外科医院	ふじもと内科胃腸科医院
アミカペットクリニック	三嶋電業株式会社
沖本歯科クリニック	みなと歯科
株式会社三ツ輪モーターズ	有限会社広橋瓦工事店
グリーン歯科医院	
近本眼科	毎年10月~12月に赤い羽根
永田消化器内科クリニック	共同募金のお願いをしています。
はらだクリニック	ご協力をいただける方はふれあい
パルホーム英工建設株式会社	センターまで。



### 2月の健康相談

担当 山本保健師

日時:2月17日(水) 10:00~11:30  
(毎月第三水曜日)

場所:恩田ふれあいセンター 1階広報室

申込:不要

「2月は、体組成測定です」

1月の体組成測定結果と比較してくださいね。

**\*\*ズームを利用した自宅からのオンライン相談もお受けします。**

ご希望の方は事前に下記アドレスまでご相談ください。

com@onda-ube.com



## 恩田地区ウォーキングチャレンジ 12月結果発表!

主催:恩田地域づくり協議会

年代別順位(チーム恩田73人参加者は30代から90代)



NO.1

男性

40代	H.Uさん	180,730歩
50代	石井 徹さん	465,828歩
60代	小倉 彰さん	849,656歩
70代	無一文さん	747,197歩
80代	木原靖記さん	434,552歩
90代	徳原 泉さん	209,104歩



NO.1

女性

30代	ベルさん	198,383歩
40代	BBBeautifulさん	131,894歩
50代	K.Cさん	199,192歩
60代	FTさん	425,393歩
70代	K.山田さん	544,069歩
80代	宮地孝子さん	382,380歩

\*\*\*\*\*

運動していた人がしなくなったり、「楽しい」「嬉しい」という気持ちでなく「外にでたくない」「もういやだ」という気持ちが強くなったら、健康相談日に保健師さんとお話ししてみませんか? 心の変化が起きるかもしれません。「あーいやだ」「どうにでもなれ!」「あー疲れた、力つきた」→「寝よう!」or「パーッとやろう!」→元気が出た人は大丈夫!

\*\*\*\*\*

第3(水)山本保健師 在勤10:00~11:30 子ども・大人相談

## 2月の行事予定

1	月	18:30	地域づくり役員会	センター	12	金	9:30	まちづくりサークル	センター
		9:30	母推定例会	センター			10:00	オレンジほっとサロンin五十目山	五十目山会館
3	水	14:00	民児協月例会	センター	14	日	9:30	人権教育推進大会	中止
		19:00	おんだ翼定例会	センター				~燃やせないごみの日~	
5	金	19:00	ふれあい運動定例会	センター	16	火	15:30	支え合い会議	センター
9	火	9:30	老連理事会	センター			10:00	健康相談	センター
		19:00	体振役員会	センター	17	水	10:00	ひよこミルク	センター
10	水	9:00	交通役員会	センター			13:30	オレンジほっとサロンin則貞	則貞会館
					19	金	19:00	恩子連定例会	センター
								~古紙の日~	
					23	火	19:00	体振役員会	センター
					25	木	18:30	地域づくり三役会	センター

コロナ前の日常を取り戻すために

常盤中学校 一年 西村 明澄

今、世界中のすべての人が新型コロナウイルスによってもたらされた恐怖におそわれています。終息が見えないどころか感染者はどんどん増えていきます。そのなかで感染者やその家族に向けたいじめや差別が発生しています。新型コロナウイルスによって発症する病気は恐ろしいと思っていました。そこからうまれる偏見や差別も恐ろしいと思いました。

宇部市でも一人、二人と感染者が出始めた頃、自治体が発表した情報などで感染者を特定して、感染者をまるで犯罪を犯した人のようなあつかいをする人が大勢いました。すっかり感染予防対策をしていたかもしれないのに、その人に罪をなすりつけて責任を負わせることは決してはいけないと思います。どんなに注意していても新型コロナウイルスは見えない敵なのでどこで感染するかわかりません。感染したことを責めることは間違っていると思います。また、感染した人があやまる必要もありません。学校や職場で差別されるかもしれないという不安から、自分が感染したことを言えなかつたり、保健所の調査に非協力的になったりして、かえって感染を広げてしまっています。差別をなくして検査をしやすくすれば感染拡大に歯止めをかけることができるかもしれません。

感染者を受け入れている病院の医療従事者や介護従事者の子どもがいじめを受けたり、保育所での預かりを拒否されたりしています。預かる側からすれば、他の子どもの親から批判を受けられないようにするため、クラスターをおこさないようにするためかもしれません。しかし、常に危険と隣合わせで命がけで感染者と接している医療従事者からすれば子どもを預かってもらえないことはとても大変です。先日テレビで、医療従事者が、感染者の口の中をきれいにしたり、体をふいたり、おむつを替えたりしておられるところを放送していました。病院内でクラスターが発生し、感染した医療従事者の方が、家族が差別されるのではないかと、子どもがいじめられるのではないかと考えて、治っても精神的にダメージを受け、仕事に復帰できない人がいるとききました。感謝をすべき医療従事者や介護従事者を差別する人は思いやりの心を持っていないと思います。

世界中でも新型コロナウイルスによる差別はたくさんあるようです。私が読んだ新聞では、子どもといっしょに歩いた親が突然後ろから男性に突き飛ばされて「邪魔だ。国から出て行け。」と言われたそうです。外国でもきびしい外出制限が出されているので、不自由な生活に大きなストレスがたまっているのでしょう。しかし理由のない差別にはいらだちを感じます。もし自分の周りに感染者が出たら、相手の立場になって相手の気持ちを考え、その人が安心して元の生活に戻れるように、優しい言葉をかけ、笑顔で接したいと思います。

新型コロナウイルスが流行する前の日常をとりもどすためには人を疑うのではなく人を信じて、いじめや差別をなくすることが大切です。一人ひとりがあやまった情報に流されずに何が正しいのか、何をすべきなのかを判断して自分の意見をしっかりと持つべきだと思います。私はこんなときだからこそ国と国、人と人が団結して目に見えない敵に立ち向かっていかないとはいけないと思います。



人権作文

人権とは

恩田小学校 六年 橋本 季和

ある日、学校の先生に「人権とは何ですか？」と質問されました。私は、すぐに答えることができませんでした。自分では分かっていると思っていたけれど、いざとなると他の人に説明できませんでした。そこで人権についても少し詳しく知るために、調べたり、考えたりしてみました。

人権とは「一人一人が生まれながら持っている権利」と辞書にありました。ここで私は一つの疑問を抱きました。この世界に生きている一人一人の人権が尊重されるはずの社会でどうして差別などのことがニュースになっているのだろう、というものです。一つ目に、今とても深刻な問題である「いじめ」があります。私も何度か、周りでいじめではないかと思うことに出くわしたことがあります。悪口を一方的に陰で言っている人や、けんかした子を無視している人など、思い返せば気づくことがありました。近年、いじめで命を落とす人が増えていることをテレビで見ました。ほんのちよつとしたからかいと思っても、その人にとっては辛い「いじめ」になってしまふことがあります。いじめは一人の無視などがだんだんとエスカレートしていくことで始まることも多いと思います。いじめをする人が自覚していないことが多いので、自分の言動に気をつけるとともに、友達の間で立った時には、気づいて声をかけてあげようと思います。

また、今日本は人権差別が大きな問題としてニュースになってはいますが、これも大きな問題だと私は思います。外国では肌の色で扱われ方が変わる時代がありました。昔は肌の黒い人が白い人の乗るバスに乗ってはいけないなど、とても厳しい差別がありました。その風習が今でも少なからず残っているようです。昔に比べると緩和されているようですが、地域によってはまだ根深く続いているとされています。日本では肌の色こそあまり変わりませんが、その地域の文化や住んでいる場所だけで判断してしまうことがあります。さらに、他の国から日本へ移り住んで来た人達に差別の目を向けることもあります。私達の身近にも、人権の迫害である「差別」「いじめ」がありました。今回、人権について考えてみて改めて「今この世に生きている一人一人の平等な人権を守りたい。」と思いました。私達の気づいていない人権の迫害を無くしたいとも思いました。人権が無視され、迫害されることをなくすために私達に何ができるのでしょうか。人の意見を尊重したり、相手の立場に立ってものを考えたり、普段からみんなが一人一人平等であることを、私はもちろん、世界中の一人一人が頭に留めておくように思いました。

これからは私も、人権を尊重できる行動をとっていかうと思います。

※編集後記※ 恩田地区人権教育推進委員協議会では、今年初めてオンラインで講演会を行います。そこで講演会に先立ち小学生、中学生の作文を恩田だよりに掲載することにしました。作文や標語にご協力いただいた児童・生徒の皆さん、指導にあたられた先生方、ありがとうございました。オンライン情報は表面参照)人権教育推進委員(今津福江、木村寿子、真宅宣昭、高志保徳子、竹光俊晴、田中真実、藤崎雅恵、山中一男、常盤中学校校長 田原暢也、恩田小学校校長 三原洋一順不同・敬称略)